

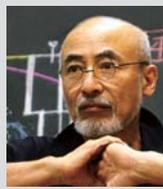
# 地球の会『設計セミナー2021 in OSAKA』開講報告

第17期の設計セミナーは、ZOOM講義とリアル開催の講義、実作品見学を組み合わせた全6回の特別カリキュラム。2021年10月26日に『素材を生かした家』をテーマに開講いたしました。

今期も、木の家 設計・施工フォーラム建築家幹事の竹原義二氏に講師をご担当いただきます。第1・3・5回は、講義。第2・4・6回は、実作品見学です。第2回は、大阪。第4回は、東京・埼玉。第6回は、滋賀にて実作品見学を予定しています。

※ 講義・実作品見学の開催については、新型コロナウイルス感染状況を注視し、都度リアル開催又はオンライン開催の判断をさせていただきます。

詳細については、「リアル開催時の受講生参加条件について」をご覧ください。



木の家 設計・施工フォーラム  
建築家幹事/無有建築工房  
代表 竹原 義二氏



## 地球の会『協力会員 特集』 第十四号

### 株式会社ウッドワン



#### 【会社概要】

弊社は、ニュージーランドに約40,000haの自社森林を保有しています。育成しているのは松の一種であるニュージープインで、1本の木すべてを無駄なく利用し、優れた建材としてお客様にお届けしています。

無垢を基調とした人気商品『ピノアス』シリーズのドアやフローリング等の建材に余す所なく利用され、突板貼りやシート貼りでは味わえない重厚感と木のぬくもり、かつ、お求め安い価格を実現しています。

#### 【トピックス】

#### ■ 無垢だから、自然を塗る『ピノアスオーダーペイントドア』

「お手入れしながら共に育つドア」ということでピノアスオーダーペイントドアを今年リニューアルいたしました。

自然塗料仕上げは、今年より「オスモ社」と「リボス社」の2社を採用し、「お手入れできる」という価値を日常の暮らしに取り入れることでメンテナンスしながら長くご使用いただける商品を発売しております。DIY感覚で重ね塗りや補色ができるので、お施主様でもメンテナンスが可能です。

ウレタン仕上げは、ニュートラルカラーとして新色を5色投入し合計8色展開となっております。

キッチンとのトータルコーディネートが可能で、木のぬくもりが楽しめる無垢材の質感ともなじみつつ、理想的な空間イメージを叶えるアクセントカラーが揃っております。

#### ■ サステイナブルな森林経営

1990年、ニュージーランド現地法人（JNL）を設立し、森林経営権を獲得しました。以後、森林を30区画に分割し、30年サイクルで、「植林」→「育林」→「間伐」→「伐採」→「植林」といった輪伐経営をスタートし、計画的な維持・管理を続けています。ウッドワンは苗木を植え続け、森林面積を減らすことなく、毎年ほぼ同量の木材を収穫し、健全な状態での森林維持を可能にしています。

ニュージーランドで育てているニュージープインを原材料とした商品は、住宅用のフローリング・内装ドア・階段材・造作材・構造材など多岐に渡ります。

すべては、次の世代。そして、地球の未来のために。ウッドワンは、挑戦し続けます。

#### 【会員へのメッセージ】



商品企画開発部 商品企画室長  
池岡 紀 氏

ニュージーランドで植林事業を始めて32年目に入りました。活動を通して地球全体のCO2削減の一端を担いつつ、役目を終えた木を伐採し余すところ無く使用しております。弊社の商品をご購入いただくことは、今後の植林事業や地域環境に配慮した建築資材のご採用に繋がります。今後ともよろしくお願ひ致します。

# ちきゅうの会通信

**地球の会 Vol.64**  
NPO法人 環境共創住宅

2021年10月31日発行  
〒530-0022 大阪府北区浪花町1-23 第10新興ビル601  
TEL06-6292-8121 FAX06-6292-8122  
e-mail: info@chikyunkai.com  
http://www.chikyunkai.com  
発行責任者：安成 信次

## 地球の会『第5期 分科会』のご紹介

地球の会では第5期目となる分科会がスタートし、新たに3つの分科会が発足いたしました。各分科会の活動内容と各リーダーをご紹介します。

#### ①『マーケティング』分科会 (ブランディング・集客・広報)

リーダー  
多田 信雄 氏  
㈱アネシス  
専務取締役



#### ②『チームビルディング』分科会

リーダー  
小野 幸助 氏  
㈱建築工房  
代表取締役



#### ③『リノベ・家守り』分科会

リーダー  
永森 幹朗 氏  
永森建設㈱  
代表取締役



活動目的	活動内容	対象者
<ul style="list-style-type: none"> <li>マーケティングの観点からの自社再構築(新しい価値観や、真の顧客満足を追及する)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織と個人の目標の明確化とチームビルディングの実現 ⇒ 組織力の最大化、生産性と貢献度の最大化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新築依存から脱却し、リノベを事業の柱とする(ウッドショックで新築受注が難しくなった今こそ、リノベのチャンスと捉える)</li> <li>入居者様から信頼を勝ち取り、永久顧客を増やす入居後も定期的な接点を持ち、顧客満足度を上げるお客様に永続的に喜び、信頼し続けていただける「仕組み(化)」を研究する分科会を目指す</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>各社現在の取り組み・方向性の確認</li> <li>MA・SFA・CMR等の情報共有</li> <li>最終的に自社でどうありたいかを再定義する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>組織と個人の目標設定の原理・原則を学ぶ</li> <li>優れたチームビルディングによって成果を上げているベンチマーク工務店を分析し、そのスキームを学ぶ</li> <li>最終的に、各社が会社・部門・個人の目標設定を明確にする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経営者(経営者候補)・経営幹部・管理職・リーダー</li> </ul>
		<ul style="list-style-type: none"> <li>リノベーション・アフターサービス 事業責任者(プレマネ)</li> </ul>

### 『第5期分科会 キックオフ大会』開催報告

2021年9月27日(月)ZOOMにて「第5期分科会キックオフ大会」を開催。本格始動の前に、各分科会の新リーダーに分科会活動の目的や内容について発表していただきました。

また当日は、「～第3次ウッドショックから考える～ 持続可能な国産材活用」をテーマに林材ライター 赤堀楠雄氏による講演会と、地球の会の新委員会『山・建築連携委員会』発表を行い、三波委員長に設立背景と今後の活動についてご説明いただきました。

<各分科会リーダー>

㈱アネシス 専務取締役  
多田 信雄 氏

㈱建築工房 代表取締役  
小野 幸助 氏

永森建設㈱ 代表取締役  
永森 幹朗 氏

**第5期分科会**

林材ライター  
赤堀 楠雄 氏

山・建築連携委員会 委員長  
山弘 代表取締役  
三波 眞介 氏

### ■ 新委員会『山・建築連携委員会』発足のご案内

地球の会では新たに『山・建築連携委員会』を発足。2021年9月27日(月)開催の『第5期分科会キックオフ大会』にて、当委員会委員長の三波眞介氏に設立背景と委員会活動について発表・ご説明いただきました。詳しくは、「地球の会」HPをご覧ください <URL⇒ <https://www.chikyunkai.com/action/>>。QRコードはこちら⇒



地域と共に、世界に誇れる住文化の創造



# いにしへの都に輝く、住まいのブランド『kinoto』

## MEMBER'S PROFILE

インタビュー・文責：地球の会理事・事務局長 佐藤 善秀

株式会社アーキネット  
代表取締役 向井 克隆 氏



奈良県奈良市

『だれもが心地の良い  
豊かな時間を提供する』

奈良で生まれ、奈良に根ざした  
最良の空間をつくる工務店』

<https://www.e-archi.jp>



朝日町モデルハウス（内観）

### 『十干・十二支』から 生まれた『kinoto』 ブランド

アーキネットのホームページを開くと真っ先に出てくるのが『kinoto』という文字。

「ん、なんだ？」と目を凝らすと、「『kinoto(きのと)』はアーキネットから生まれた本格木造住宅のブランドです」と書かれている。そう、アーキネットがつくる木の家のブランド名である。ブランド名をHPの冒頭に表現している例は珍しくないがその言葉の意味がよく分からない、というのは初めての経験だった。「『kinoto』って何ですか？」私は向井社長に会うや否やそんな質問をした。

「みなさんは、こうしてローマ字で書かれているから、よく分からないようですね。その質問をいただくだけで“よっしゃ、やった”と思うんですよ」「エッどういうことですか？」と私はますます興味を持った。

「みなさん、『十二支』はよくご存じでしょう。『十二支』以外に『十干(じっかん)』とい

うのがありますね。この、『十干』と『十二支』が合わさって“干支(えと)”ができるのですが…。なにやら中国の漢文・暦の勉強ようになってきたが、「結論から言うと『十干』は“甲(きのえ)・乙(きのと)・丙(ひのえ)・丁(ひのと)”と十ありますでしょ。この二番目の“乙(きのと)”をローマ字にしました」とのことだった。とても深い。

「“乙(きのと)”には新芽が芽吹くとか、粹な、という意味があり、まさに『木の音』という意味もある。大工のゲンノウの音のような響きもあるじゃないですか。ローマ字で表すことによってなんとなく男性ではなく、女性的な雰囲気があるでしょ。家は女性が中心ですから」とのこと。こんな話をいきなり聞くとはいちもよらなかつた。

HPの最初のページの下欄を見ると、小さな文字で『開運ブランド kinoto』と書いてある。向井社長のプレーン仲間であるデザイナー、コピーライターの方などのプレーンストロミングの中から、このブランドが生まれたという。



株式会社アーキネット（外観）



朝日町モデルハウス（外観）



『kinoto』ギャラリー（内観）

### お客様の新しいノーマル を創る『kinoto』 コンセプト

私は奈良のど真ん中に来て、まるではるか昔、いにしへの飛鳥・奈良時代にタイムスリップし、その昔、隋・唐の時代、きっと中国の学者などもこの奈良の都大路をたくさん歩いていたのだろう。そういういにしへの知恵が蘇ってきているような感覚に襲われた。さらに『kinoto』というウェブサイトのコンセプトページを開くと“*This is NORMAL*”というタイトルがいきなり現れる。そこには、

家に求められるものとはなんだろうか。広々とした空間も、豪華な装飾も機能的な設備も、すべては個々のパーツに過ぎません。いかなるデザインや工夫も、そこに住み続けるお客様にとってはやがて『日常』となり、美意識や感性を育む『基準』となっていくます。

つまり、家とは最もNORMALな場所であり、お客様のNORMALをかたちづくる存在であるということ。だから『kinoto』は『日常』や『基準』を変え、美意識や感性を自然に高めていく、新しいNORMALを設計したいと考えました。

**This is NORMAL.**  
それが『kinoto』のコンセプト。長い時間、遠い未来を見据えたときその価値を高めていく家には、

きっと、お客様にとってNORMALであり続けられることが求められるはずですよ。

『kinoto』がデザインするNORMALを、ぜひ、ご体験ください。

とある。

「奈良の町のあちこちに『kinoto』というブランド名が入った現場シートがいつも見えているという形をつくることによって『kinoto』というブランドを広め、浸透していきたいのです」という向井社長。彼はまだ37才。父親が始めた会社の二代目とはいえ、全く住宅とは縁のない世界からこの世界に入ってきた。

「以前はミュージシャンをしていたのですよ。ですから、建築は全く素人でした」このことをお聞きして、やっと彼の家づくりの一端が理解できたように思った。この担当者は基本的に皆設計ができる担当者である。ただし、自分で設計しても、外部の建築家に依頼してもいい。どちらで対応するかはお客様の考え方と担当者に任されている。こうすることによって、「言った、言わない」というトラブルがなくなつたという。

### 独自のユニークな取り組みへの挑戦

アーキネットのユニークな具体的展開のいくつかを見てみよう。アーキネットの新築住宅の平均単価は4,000万円くらい。お客様は中小企業の経営者・医師・共働きの方など忙しい人が多く、最近ではウェブでの打ち合わせや平日の相談が多くなっている。全て平日での打ち合わせを進める場合には、100万円サービスしますと

このような形で、お客様との打ち合わせ日や時間を分散することによって、お客様のニーズとこちらの仕事の効率化、分散にもつながっているなど、ユニークな取り組みを行っている。また、紙媒体による告知は5年位前に止め、今はインスタが告知の中心媒体になっている。告知はウェブがメインになっているが、お客様とのリアルな接点も重視し、現場見学会は毎週末に実施しており、常に現場・完成事例などが見えるようになっている。

社内体制も少し変わっている。アーキネットには営業、設計、工務などという職種によって業務体制がわかれているわけではない。大工工事に携わっている一人と総務関係を除いては『プロダクトチーム』という部署の4名がそれぞれお客様一人ひとりを最初の接点から設計、工事が終了するまで通して対応する。この担当者は基本的に皆設計ができる担当者である。ただし、自分で設計しても、外部の建築家に依頼してもいい。どちらで対応するかはお客様の考え方と担当者に任されている。こうすることによって、「言った、言わない」というトラブルがなくなつたという。

空海が少年時代に修業したという“大安寺”のある大安寺町に位置するアーキネットは、その昔空海が真言密教という新しい世界を日本に打ち立てたように、彼もまた今、これまでにない新しい住宅・くらしづくりの世界を創造していこうとしているように見えた。